

令和7年度第1回 松戸市文化スポーツ推進審議会について（意見票）

本日の議題等について、ご意見がございましたら、ご記入いただき、8/8（金）までに下記提出先までご提出ください。

委員名	菊田陽子
項目	下記の中から○をしてください (議事内容への質問 ・ ⑧議題内容への意見 ・ その他質問 ・ ㊟の他意見)
内容	<p>・ 推進方針の重点戦略について 2, 文化芸術・スポーツの多様性が価値となる共生社会の実現 ・ 多文化共生・共創の推進 ・ パラスポーツ・障害者アートの推進 この文言から具体策に繋がりにくいと感じました。例えば ・ 多様な文化に触れる機会の創出 ・ パラスポーツ・障害者アートに触れる機会の創出 のような表現のほうが、この戦略が決定した後のアクションにつなげやすいのではないかと感じました。</p> <p>・ 推進審議会の運営について 委員の数も多く、本会議だけで意見を集約することはかなり難しいのではないかと感じます。本会議の前にいくつかの分科会等を開催して、事前に意見をある程度集約してから本会議に臨むほうが円滑に進められるのではないかと思います。</p>
回答	下記の中から○をしてください (回答を必要とする ・ ㊟回答を必要としない)

【提出先】 松戸市 文化スポーツ部 文化スポーツ政策課

担 当：東海林、青柳、上野

住 所：〒271-8588 千葉県松戸市小根本 7-8-6F

T E L：047-712-1593

F A X：047-711-6387

E-mail：mcbunkasports@city.matsudo.chiba.jp

令和7年度第1回 松戸市文化スポーツ推進審議会について（意見票）

本日の議題等について、ご意見がございましたら、ご記入いただき、8/8（金）までに下記提出先までご提出ください。

委員名	松戸市音楽協会 局和美
項目	下記の中から○をしてください (議事内容への質問 ・ <u>議題内容への意見</u> ・ その他質問 ・ その他意見)
内容	<p>【重点戦略2について】</p> <p>資料1「目指す街の姿(仮)」の中で、〈インクルーシブ社会の実現〉と書かれています。重点戦略2の〈パラスポーツ・障がい者アートの推進〉とカテゴリー別に書かれていると、一般との間に線引きされているように感じます。</p> <p>インクルーシブ社会の実現を目指すのであれば、重点戦略のとらえ方のなかでも、一般と同じカテゴリーの中で、より一層、理解を深め社会と共生し、活躍できる場を増やすような垣根を超えた提示が良いのではないのでしょうか。</p>
回答	下記の中から○をしてください (<u>回答を必要とする</u> ・ 回答を必要としない)

【提出先】 松戸市 文化スポーツ部 文化スポーツ政策課

担 当：東海林、青柳、上野

住 所：〒271-8588 千葉県松戸市小根本 7-8-6F

T E L：047-712-1593

F A X：047-711-6387

E-mail：mcbunkasports@city.matsudo.chiba.jp

令和7年度第1回 松戸市文化スポーツ推進審議会について(意見票)

本日の議題等について、ご意見がございましたら、ご記入いただき、8/8(金)までに下記提出先までご提出ください。

委員名	武田 司
項目	下記の中から○をしてください (議事内容への質問・○議題内容への意見・その他質問・○その他意見)
内容	<p>先日の会議では、少し会議らしさを持ち始めたように感じ安堵致しました。ゲストスピーカーの山崎さんのお話からは、熱意を持って取り組んでこられたからこそそのジレンマをひしひしと感じました。</p> <p>所詮ボランティアだからといった形に納得させなければ気持ちが割りきれないような思いを経験されてきたのだと思うと、思いのある方の支えになる行政であって欲しいですし、そのための機構や施設のより良い形を10年かけて構築して欲しいです。</p> <p>新任の委員のお二人から、各々の現場に立たれた経験をもとにお話をいただきとても参考になりましたし、心強く思います。</p> <p>森委員のいわき芸術文化交流館アリオスでのお話は興味深く、市民との会議を構築するにあたって、どのようにメンバーをピックアップしていったのか。つまり震災後に自発的に動ける(動かなければと思う)ように育つ人材の見つけ方が知りたかったです。個々の活動や分野を発展的に継続するためには、人材発掘についてご教示いただきたいです。</p> <p>秋葉委員の学校の規模が小さいゆえに部活が成り立たず、合同で様々なスポーツが出来るSpot.Yoyogi Parkはとても参考に出来るものと感じました。</p> <p>アンバサダーのラインナップ等は渋谷ならではのようですが、松戸にもBMXの世界大会に出場する方や佐渡ヶ嶽部屋等 大切にしたいものはあるように思います。</p> <p>このような施設が子ども達の他校や異世代との交流できるスポーツの拠点、ワークショップや発表の場所等の文化活動の拠点等の双方の共存が出来るとより良いと思います。然しながら、箱物の計画を立てるのは必要性を感じるものの、そのようなものが出来るまでには(仮に計画が出来たとしても)相応の時間を要してしまいます。10年後を見据えた計画を立てるといってもその間に何を進めていくかがとても重要です。</p> <p>また、部活動の民間移行については、菊池校長もおっしゃっていたとおり、推し進める口調から推奨する様な表現へと文科省の揺らぎを感じます。</p> <p>昨日の総合教育会議でも少し触れましたが、文化スポーツ政策課が教育委員会の機能の一部を市長部局に移管し(かつ相互に情報共有していく)新しい形が出来て発足したのですから、この事は大きなテーマです。</p> <p>「大きな企業があるところは移行が進んでいる」という様な意見もよく耳にしますが、金銭的な面ばかりを追うと残っている問題(メンタル、意欲)がないがしろになってしまう。上から決められた形が整いすぎてしまうことで失うものについて、本当により良い形とは何かを慎重に検討しなければ、失った後では元に戻すことは困難だと思います。</p> <p>総合教育会議では、少々大綱という大きなテーマを決める事から少し離れ、それぞれの根底に繋がる各論的な話をしてしまいましたが、時間も無い中で伝えたいベースとなると思い発言致しましたので、議事録から読み取っていただけると有り難く思います。</p> <p>教育社会学者のブラックウッド氏が日本人の人格形成と部活動の効用の研究をなさっていて、働き方改革の時間的側面のデータを重視する中で見落とされていることが多く潜んでいて、このメンタルの作用こそが民間移行の疑問符として根底にあるからではないかと想像します。</p>

	<p>秋場委員から人口についての発言がございましたが、松戸は住人の出入りの出入りの激しいのは土地柄やむを得ない当然の事でとどめる事を推奨又は目標とするものではないと思います。</p> <p>祭りの時に里帰りする地方出身者のように、在住時に経験した行事や場所が本当に楽しい、興味深い幸福な時間であれば、自身の子供にも経験させたいと思うような記憶に残るならば、住み続けていても、いなくても流入人口になり得ると思います。それは、賑わいに繋がる土地の持つ魅力です。</p> <p>その為には、10年後を見据えながら、今の小中学生が育つ過程により良い形へと変化していく体制を感じて育ってもらうことが大切だと思います。</p>
回答	<p>下記の中から○をしてください</p> <p>(回答を必要とする ・ ○回答を必要としない)</p>

【提出先】 松戸市 文化スポーツ部 文化スポーツ政策課

担 当:東海林、青柳、上野

住 所:〒271-8588 千葉県松戸市小根本 7-8-6F

T E L:047-712-1593

F A X:047-711-6387

E- mai l: mcbunkasports@city.matsudo.chiba.jp